



特集1

令和8年米原市

二十歳のつどい

「大人」としての
門出を祝う

1月11日、二十歳という人生の節目を祝う「二十歳のつどい」が開催されました。式典は2部構成で開催され、二十歳を迎えるおよそ300人の若者達が、今日まで支えてくれた家族や友人達への感謝を胸に、「大人」としての第一歩を踏み出しました。



▲伊吹山テレビは
こちら
(1月23日号)



二十歳のつどい実行委員会
副委員長 矢森 美帆さん

こんな大人になりたい!

失敗を恐れず、新しいことに挑戦し、成長し続ける大人でありたいです。支えてくれる方々への感謝を忘れず、誠実に生きていきたいと思います。

感謝のメッセージ

たくさん愛情を注いでくれた家族に心から感謝しています。そして、いつも明るい友だちに何度も励まされました。すてきな人たちに囲まれ、本当に幸せです!

自分にとって米原市とは

豊かな自然と温かい人たちが溢れている米原市だからこそ、私は安心してのびのびと育つことができたと思っています。

こんな大人になりたい!

自分の周りの人に「楽しい!」と感じてもらえることを考えたり、提供することに全力を尽くせる大人になりたいです!

感謝のメッセージ

私たちが成人として新たな一歩を踏み出せるのは、いつも温かく見守ってくださる皆さまのおかげです。これからも精進したいと思います。

自分にとって米原市とは

私にとって米原市は、帰るたびに「おかえり」と迎えてくれるふるさとです。このまちで過ごした時間が、これからの自分の支えになるとと思っています。



二十歳のつどい実行委員会
委員長 中田 喜雅さん